

## 事例

# 01



テレワーク

ジョブサポートパワー株式会社  
サービス業



## ICT活用とチームワークで テレワークでもオフィス勤務と 同じ環境を実現

ジョブサポートパワー株式会社は、全社員の約65%が在宅勤務で、在宅でもオフィスと同等の就業環境を実現しています。そうしたテレワーク環境が作られるまでの経緯や、実際の業務の状況を、代表取締役の小川慶幸さんとトライスル事業部の吉川一哉さんに伺いました。

### テレワーク導入の経緯

2001年の会社設立当時、人材獲得がなかなか進まず、雇用者数を伸ばせずにいた中、2004年に初めて在宅勤務社員を採用しました。

しかし当時は、週に1度出勤し、1週間分の仕事の打ち合わせをするというやり方だったため、週1回東京や大阪などの拠点へ行くことのできる人に限られました。そして、全国には働く意欲と能力のある障害者が大勢いることも分かってきた2009年、遠隔地からの採用を本格化させます。

### 在宅勤務社員の採用方法

現在は、自社サイトからの応募のほか、各地のハローワークへの求人掲載といった採用活動を行っています。希望者にはまず、障害種別や状態などをメールや電話で確認したあと、応募書類を郵送してもらいます。面接は二次までオンラインで行い、その後ウェブでの適性検査、データ入力スピードやエクセルの関数の理解レベルといったPCスキルを確認します。

### 全国に広がるテレワークを支えるICTセンター

本社には、在宅で働く社員のヘルプデスクからサポートまでを一括して行うICTセンターがあります。

採用が決まると、自宅やその周辺地域のネット環境を調査、その状況に応じた業務専用回線を用意します。併せて、社内ネットワークへ接続するVPNが設定されたPCを自宅に送り、設置のサポートまで行います。

また、在宅勤務社員用の就業規則も整備し、家族でも立ち入らない業務スペースの確保や持ち運びのできないデスクトップPCや接続デバイスの制限などを規定しています。トラブル発生時は電話で状況を確認し、ケースごとにリモート操作や機器交換などで対応する体制をとっています。



社員間の親睦を深める交流会

### 在宅勤務社員だけのグループワーク

同社は在宅勤務社員だけで編成された5〜10名のグループをベースに業務を進めています。

コミュニケーションツールはTeamsを利用。ビデオ会議は朝礼・終礼のほか、リーダー会議や本社との打ち合わせ、チャットや音声通話はグループ内での業務確認や打ち合わせに利用。リーダーは業務指示のほか、メンバーの声を聞くことで体調確認・観察します。こうしたTeamsの使い方のルールは、入社後3か月の研修の中で周知されます。

特定の社員に負荷が生じないように、グループ人員と抱える業務量には余裕をもたせ、グループ内では体調管理とともに、各メンバーの業務量を、朝礼や終礼で確認しています。

### 全国47都道府県での雇用へ

小川さんは「会社にとっては、安定した雇用の継続が何より。場所を限定せず、在宅でのテレワーク環境を提供することで、安定して働ける人を採用できています」と言います。

現在、31都道府県での雇用が実現していますが、近いうちに全都道府県での雇用を目指しています。

## 社員の声

### 上田玲奈さん

経営戦略部経営戦略センター長

私は2013年に入社し、在宅業務課でグループリーダーを経験したあと、人事や広報等を経て、経営戦略センター長になりました。

入社当時から現在もテレワークによる完全在宅勤務で、日々業務を進めながら、接続権限設定やオンラインストレージの利用など、私たちが使いやすいよう、また、効率よく業務が進められるよう提案しながらテレワークの仕組みを作ってきました。その後研修担当に異動し、自分たちが作ってきたやり方を研修プログラムに反映させることもできました。

在宅で働くのに大事なものは、積極的にコミュニケーションをとっていくこと。グループ内はもちろん、研修同期メンバーやリーダー同士など、横つながりの支え合いや情報共有も大事にしています。



経営戦略部経営戦略センター長  
上田玲奈さん

## 取組のポイント

### POINT 1

### 在宅勤務を前提とした採用・雇用

同社の障害者雇用では、在宅勤務となることを前提として、採用面接や入社前のスキルチェックはすべてオンラインで実施しています。採用が決まり研修が始まる前には、専用回線や使用するPCなどを会社が整え、外出に困難を伴う障害のある方が在宅で働くための万全の環境を用意しています。



本社 ICTセンター

### POINT 2

### 在宅勤務社員を支えるICTセンター

テレワークの環境を万全に整えている同社ですが、これを下支えているのは、本社に設置されているICTセンターです。PCの設定やITインフラのトラブルが生じた場合、電話、メール等で連絡すると、常駐のスタッフがフォロー。電話での操作指示やリモート操作で解決しない場合は、代替え機器を即座に送るなど、迅速な対応ができる体制が整っています。



代表取締役  
小川慶幸さん

### POINT 3

### Teams をフル活用した〈チームワーク〉

同社では、遠隔だからこそ社内での連携を重視し、Teams をフル活用して密なコミュニケーションを図っています。勤務時間内は常時接続とし、朝礼・終礼はビデオ会議、業務開始・終了の際にはグループチャットに書き込み、業務指示や連絡にもチャットのほか音声通話機能を使っています。Teams のオン・オフライン表示をリーダーが確認し、終業後にオフライン表示とならない場合などには音声通話で連絡を取ります。「横のつながり」を大切にしている同社では、ビデオ会議を利用してランチ交流会を月1回開催、チャットは、研修同期との情報交換にも使っています。



トライスル事業部  
吉川一哉さん

ジョブサポートパワー株式会社 (マンパワーグループ特例子会社)

所在地 東京都立川市曙町 2-34-7 ファーレイーストビル 8 階

設立 2001 年

従業員数 144 名 (うち障害者 138 名)

事業内容 事務処理業務請負、障害者雇用支援、有料職業紹介事業

障害のある社員の業務内容 親会社支援業務：与信判定、財務事務、派遣スタッフの福利厚生事務・コール対応、専用システム登録対応、会議室管理 等  
その他業務：事務局対応、ヘルプデスク、テープ起こし、調査情報収集、プログラム構築、労務管理、人事管理、採用・教育・研修